

問1 国政選挙において、ある選挙区では有権者約20万人で1人の議員が選出されるのに対し、別の選挙区では議員1人を送り出すために約40万人以上の有権者が必要となる場合があります。このように、選挙区ごとの有権者数の違いによって、国民が持つ一票の政治的な価値に不平等が生じている状態を何といいますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 一票の格差 2. 小選挙区比例代表並立制 3. 政党助成金制度 4. 死票の増大

問2 選挙区によって有権者の数に大きな違いがあるため、議員1人あたりの有権者数に差が生じ、国民が投じる一票の重みが不平等になってしまう問題を何といいますか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)

1. 一票の格差 2. 死票の増加 3. 比例代表制 4. 小選挙区制

問3 1928年の総選挙では有権者の割合が全人口の約20%であったのに対し、1946年の総選挙では約49%へと急増しています。この有権者の割合が大幅に増加した理由として、1945年に行われた選挙法改正の内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

1. 選挙権を得られる年齢が満20歳以上に引き下げられ、新たに女性の参政権が認められたため 2. 直接国税を納めるという要件が完全に廃止され、すべての成年男子に選挙権が与えられたため 3. 直接選挙制が導入されたことで、義務教育を修了したすべての国民に投票資格が与えられたため 4. 満25歳以上の男子という制限は維持されたが、被選挙権の年齢制限が大幅に緩和されたため

問4 現代の日本において、議会が有権者の構成をどの程度反映しているかを多角的に分析したいと考えています。このとき、当選した「議員数」の年代別構成と比較するデータとして、民主政治の観点から最も重視すべきものはどれですか。 (2023年 富山公立入試 類似)

1. 年代別の有権者数の割合 2. 年代別の就業者数の割合 3. 年代別の納税額の統計データ 4. 住民基本台帳に記載された年代別の総人口

問5 議院内閣制をとる日本の政治において、国会で多数の議席を確保し、内閣を組織して政権を担当する政党を何と呼ぶか。 (2021年 北海道公立入試 類似)

1. 与党 2. 野党 3. 連立政権 4. 圧力団体

問6 日本の衆議院議員選挙で採用されている「小選挙区比例代表並立制」は、2つの異なる制度を組み合わせた仕組みです。この制度を導入している最大の目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 宮崎公立入試 類似)

1. 小選挙区制の利点である政局の安定と、比例代表制の利点である多様な民意の反映を両立させ、互いの欠点を補完すること 2. 選挙にかかる費用を大幅に削減し、候補者のポスター掲示や演説の機会を平等に確保すること 3. 小選挙区で発生する死票を完全になくすために、すべての当選者を政党の得票率のみに基づいて決定すること 4. 各都道府県の人口差による『一票の格差』を解消し、どこ地域でも同じ人数の議員が選出されるようにすること

問7 日本の選挙制度において、参議院議員選挙および都道府県知事選挙に立候補するために必要な年齢要件（被選挙権）として正しいものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

1. 満18歳以上 2. 満20歳以上 3. 満25歳以上 4. 満30歳以上

問8 2017年の衆議院議員総選挙において、20代の投票率は約30%と全年代の中で最も低い数値でした。また、日本の年代別人口の構成を見ると、若年層は中高年層に比べて著しく少ない状況にあります。このような「投票率」と「年代別人口」の差が、民主主義における政策決定にどのような影響を及ぼすと考えられますか。 (2020年 高知公立入試 類似)

1. 有権者数や投票数が多い高齢者の意見が重視されやすくなり、若年層の意見が政治的反映を受けにくくなる。 2. 若年層の人口が少ないため、一人ひとりが持つ一票の価値が法的に高く補正され、若者の意見が通りやすくなる。 3. 若年層の投票率が低いため、各政党は若者の関心を引こうと、若者向けの支援政策を最優先で公約に掲げるようになる。 4. 男女別の投票率に大きな差がないため、年代を問わずすべての世代の意見が均等に予算配分へ反映される。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一票の格差	日本国憲法は「法の下での平等」を定めており、選挙においても一人ひとりの一票の重みが等しいことが原則です。しかし、都市部への人口集中などにより、議員1人あたりの有権者数が選挙区によって大きく異なる現象が起きています。この不平等な状態を「一票の格差」と呼び、最高裁判所によって「違憲（憲法違反）状態」と判断されることもあります。
問2	答え 1 一票の格差	日本国憲法が定める「法の下での平等」に反する状態として、しばしば裁判でも争点となります。議員1人あたりの有権者数が少ない選挙区ほど、一票が議席に結びつく割合が高くなるため、一票の価値が「重い」と表現されます。
問3	答え 1 選挙権を得られる年齢が満20歳以上に引き下げられ、新たに女性の参政権が認められたため	第二次世界大戦直後の1945年、日本の民主化政策の一環として衆議院議員選挙法が改正されました。それまでの1925年に制定された普通選挙法では、選挙権は「満25歳以上の男子」に限られていましたが、この改正によって選挙権年齢が満20歳以上に引き下げられました。さらに、日本で初めて女性にも参政権が認められたことにより、有権者の数はそれまでの約2倍以上に増え、国民の約半分が政治に参加できる仕組みへと変わりました。1946年には、この新制度のもとで戦後最初の総選挙が行われました。
問4	答え 1 年代別の有権者数の割合	議会制民主主義（代表制民主主義）において、議会は主権者である国民の意思を代表する場です。そのため、当選した議員の年代などの属性が、実際の「有権者数」の構成比と著しくかけ離れていないかを比較することは、議会の代表性を評価する重要な視点となります。総人口には選挙権のない子供が含まれるため、政治的な意思決定主体である有権者のデータと比較することがより適切です。また、職業や納税額による比較は、制限選挙ではなく普通選挙を実施している現代の民主政治において、代表性を測る直接の指標とはなりません。
問5	答え 1 与党	政権を担当し、政策の決定や実施を直接担う政党を指す。通常は国会で過半数の議席を持つ政党がこれにあたるが、単独で過半数に達しない場合に複数の政党が協力して政権を担う「連立政権」の形をとることもある。
問6	答え 1 小選挙区制の利点である政局の安定と、比例代表制の利点である多様な民意の反映を両立させ、互いの欠点を補完すること	小選挙区制は、1つの選挙区から1人の当選者を選ぶため、大きな政党が議席を得やすく政権が安定するという長所がありますが、落選者に投じられた「死票」が多くなるという欠点があります。一方で比例代表制は、政党の得票率に応じて議席を配分するため、死票が少なく少数意見も反映されやすいという長所があります。衆議院ではこれらを組み合わせることで、それぞれの長所を活かしつつ、欠点の補完を目指しています。
問7	答え 4 満30歳以上	参議院議員と都道府県知事の被選挙権は「満30歳以上」と定められています。選択肢にある「満25歳以上」は衆議院議員や地方議会議員、市町村長の被選挙権であり、混同しやすいポイントです。また、「満18歳以上」は投票することができる選挙権の年齢要件です。
問8	答え 1 有権者数や投票数が多い高齢者の意見が重視されやすくなり、若年層の意見が政策的反映を受けにくくなる。	日本の選挙制度において、特定の年代の投票率が低いことや、少子高齢化の影響で年代別人口のバランスが崩れていることは、政策の優先順位に大きな影響を及ぼします。当選を目指す候補者や政党にとって、有権者の数自体が多く、かつ実際に投票所へ足を運ぶ割合が高い世代の要望は無視できないものとなります。その結果、教育や子育て支援といった若年層向けの政策よりも、医療や年金などの社会保障を重視する高齢者向けの政策が優先されやすくなるという課題が生じています。